

令和7年度事務事業評価（令和6年度事後評価）

地域振興部

所属名	事務事業名	ページ番号
スポーツ振興課	諸富文化体育館改修事業	2
スポーツ振興課	スポーツ推進計画策定事業	3
スポーツ振興課	スポーツ少年団育成事業	4
スポーツ振興課	スポーツきっかけづくり推進事業	5
スポーツ振興課	スポーツ推進委員協議会活動推進事業	6
スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブ支援事業	7
スポーツ振興課	さが桜マラソン大会開催事業	8
スポーツ振興課	スポーツボランティア登録・養成事業	9
スポーツ振興課	アーバンスポーツ推進事業	10
スポーツ振興課	各種スポーツ大会開催補助事業	11
スポーツ振興課	公益財団法人佐賀市スポーツ協会との連携経費	12
スポーツ振興課	市民スポーツ大会開催経費	13
スポーツ振興課	校区対抗駅伝大会開催事業	14
スポーツ振興課	スポーツ合宿推進事業	15
スポーツ振興課	スポーツ指導者育成事業	16
スポーツ振興課	各種大会出場助成事業	17
スポーツ振興課	アスリート育成支援事業	18
スポーツ振興課	パリ2024オリンピック・パラリンピック選手応援・支援事業	19
スポーツ振興課	佐賀バルナーズ連携事業	20
スポーツ振興課	サガントス交流宣言事業	21
スポーツ振興課	佐賀市民運動広場運営事業	22
スポーツ振興課	佐賀勤労者体育センター運営事業	23
スポーツ振興課	市立野球場・弓道場管理運営事業	24
スポーツ振興課	佐賀市立体育館・テニスコート運営事業	25
スポーツ振興課	西神野運動広場運営事業	26
スポーツ振興課	春日運動広場管理運営事業	27
スポーツ振興課	大和勤労者体育センター・大和中央公園体育施設管理運営事業	28
スポーツ振興課	富士運動広場管理運営事業	29
スポーツ振興課	三瀬グラウンド管理運営事業	30
スポーツ振興課	三瀬勤労福祉センター管理運営事業	31
スポーツ振興課	三瀬プール管理運営事業	32
スポーツ振興課	スポーツパーク川副・川副運動広場管理運営事業	33
スポーツ振興課	東与賀運動公園体育施設管理運営事業	34
スポーツ振興課	久保田グラウンド・補助グラウンド管理運営事業	35
スポーツ振興課	佐賀市健康運動センター管理運営事業	36
スポーツ振興課	諸富文化体育館・諸富公園体育施設管理運営事業	37
スポーツ振興課	富士しゃくなげ湖水上競技場施設管理運営事業	38
スポーツ振興課	嘉瀬川河川敷グラウンドの管理運営	39
スポーツ振興課	学校体育施設開放事業	40
スポーツ振興課	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業費	41

令和7年度 公共事業進捗報告シート

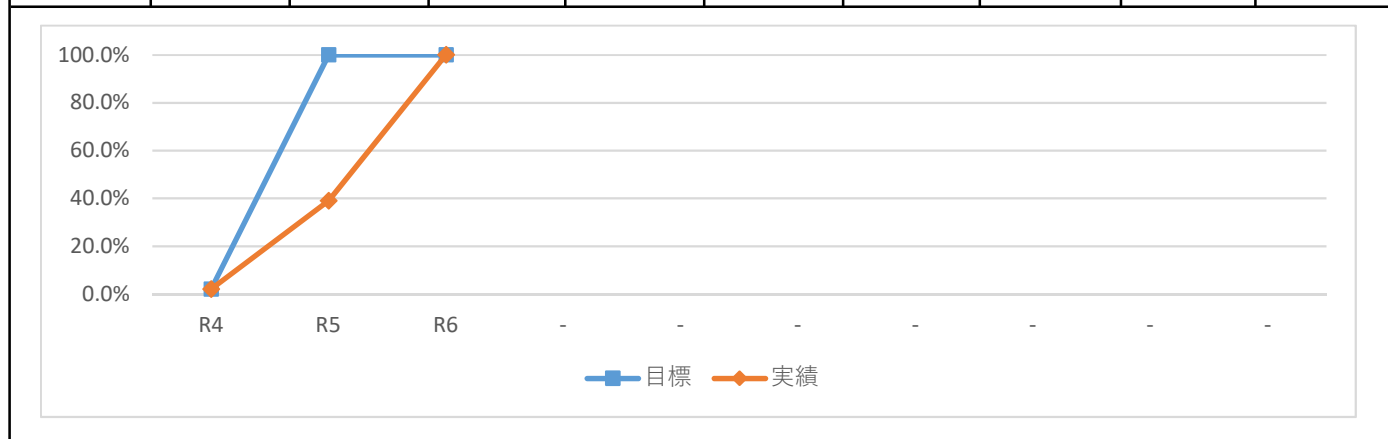
公共事業名	諸富文化体育館改修事業		事業期間	令和 4 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係		担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画に おける位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 公共事業の基本情報

整備概要	諸富文化体育館の空調機器更新				
整備の目的	経年劣化（供用開始後約27年経過）が進む空調機器を更新することにより、利用者の快適性・安全性の向上を図る。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R4年度	R5年度	R6年度	年度	年度
工事請負費		76,500	118,739		
測量・監理等委託料	3,748		2,531		
用地購入費					
補償費					
その他事務費等			16,313		
計	3,748	76,500	137,583	0	0
うち佐賀市の負担	448	7,700	28,583		
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					195,239
測量・監理等委託料					6,279
用地購入費					0
補償費					0
その他事務費等					16,313
計	0	0	0	0	217,831
うち佐賀市の負担					36,731

2 事業の進捗率

R4	目標 実績	R5	目標 実績	R6	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	2.0% 2.0%	100.0% 39.0%	100.0% 100.0%								



令和7年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	スポーツ推進計画策定事業	事業期間	令和 6 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	令和6年度で最終年度となる「第2次佐賀市スポーツ推進計画」の成果と課題を整理し、今後5年間のスポーツ推進の基本的な方向性を示す「第3次佐賀市スポーツ推進計画」を策定した。 国の計画及び本県のスポーツ施策・取組を踏まえながら、本市では「スポーツの価値」にも着目し、令和6年に本県で開催されたSAGA2024国スポ・全障スポのレガシーの承継・発展を加味した内容とした。				
事業の対象者	市民全般				
根拠法令等	スポーツ基本法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額					1,084
うち佐賀市の負担額					1,084

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
審議会開催数					回	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	6	
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

推進計画を策定するにあたり、佐賀市スポーツ推進審議会に諮問した。委員の皆様が各方面で培ってこられた知識、意見を計画策定に反映し、答申していただいた。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツ少年団育成事業	事業期間	昭和 60 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	生涯学習・情操教育・地域とのつながりを柱に、いろいろな競技の少年スポーツクラブが、スポーツ少年団に結集し、体力増進、リーダーの養成、交流、研修を行う。スポーツ少年団は日本最大の青少年団スポーツ団体で、小学生を中心に、中学生、高校生まで加入できる。市は佐賀市スポーツ少年団に対し補助を行うとともに、事務局として団の運営を支援し、少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年の健全な育成に資する。				
事業の対象者	市内に居住する児童、生徒				
令和6年度 主な活動実績	佐賀市スポーツ少年団大会（8月、9月） 佐賀市親子SHIPS（シップス）交流大会（10月） 佐賀市長杯ミニバスケットボール大会（12月） 指導者・保護者研修会（3月）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,328	2,673	2,644	2,720	3,527
うち佐賀市の負担額	2,328	2,673	2,644	2,720	3,527

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
加盟団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
45	46 43	47 43	48 45	49 46		

成果指標②						単位
加盟団員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
665	700 726	730 755	760 806	850 856		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	目標達成には至っていないが、加盟団体数や加盟団員数は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、増加傾向となっている。

今後の改善策、対応策等

スポーツ少年団の活動を充実させ、加盟団加入促進のための交流大会等や各種目での体験会を実施することで、加盟団体の増加を図る。また、大会結果やクラブの紹介等の情報発信をすることにより、スポーツ少年団の知名度を上げる。さらに、若年指導者の育成にも努めたい。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツきっかけづくり推進事業	事業期間	昭和 60 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画に おける位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	年齢や性別、体力、障がいの有無に関わらず、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの特長を生かし、地域スポーツの普及、推進の手段の一つとして、ニュースポーツ用具の整備、貸し出しなどを行うとともに、佐賀市スポーツ推進委員と連携を図りながら、佐賀市まなざしスポーツ・レクリエーション祭や、各地区での出前講座などを行い、ニュースポーツの指導、普及に努める。				
事業の対象者	市民全般				
令和6年度 主な活動実績	出前講座（12回） ニュースポーツ用具の整備、貸出 市まなざしスポーツ・レクリエーション祭（12月）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	482	287	496	465	1,110
うち佐賀市の 負担額	482	287	496	465	1,110

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
出前講座参加人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
471	500 286	600 496	700 1505	800 404		

成果指標②						単位
まなざしスポーツ・レクリエーション祭参加人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
254	265 -	280 165	290 207	300 303		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	スポーツ振興課で行った出前講座の参加人数は目標を大きく下回ったが、スポーツ推進委員等が各校区で実施するニュースポーツ教室の参加人数は、令和5年度が11,648人、令和6年度が12,141人と増加しており、ニュースポーツの普及は促進されている。佐賀市まなざしスポーツ・レクリエーション祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ数年参加人数が減少していたが、令和6年度は参加者数が増加し、目標値を達成することができた。

今後の改善策、対応策等

出前講座については、地域のスポーツ推進委員と連携し、学校やPTA、老人会、子ども会などの団体に対して、効果的な広報を行うことで開催回数、参加者数の増加を図っている。市まなざしスポーツ・レクリエーション祭については、毎年種目等を見直すことで飽きのこない内容とし、さらなる参加者数の増加を図りたい。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツ推進委員協議会活動推進事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	協議会は、市が計画する各種大会等への協力、地域でのニュースポーツの普及などの活動を行っている。また、スポーツ推進委員の資質向上を図るため、総務委員会、研修委員会、事業委員会の各専門委員会を定期的に開催し、協議・研修を行っている。さらに、佐賀市の委託事業でまなざしスポーツ・レクリエーション祭を開催し、市民スポーツ、レクリエーションを普及する。
事業の対象者	市民全般
令和6年度主な活動実績	定例研修会、各専門委員会（総務、事業、研修）、理事会、研究大会等を開催 地域イベント、他団体イベントでのニュースポーツ指導の実施 市まなざしスポーツ・レクリエーション祭

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,070	3,253	5,282	4,738	5,898
うち佐賀市の負担額	5,070	3,253	5,282	4,738	5,898

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
各校区開催ニュースポーツ教室参加者数						人
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
6,901	7,000	3,189	7,100	10,806	7,200	11,648
					R6 目標	R6 実績
					7,300	12,141

成果指標②						単位
まなざしスポーツ・レクリエーション祭参加者数						人
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
254	265	-	280	165	290	207
					R6 目標	R6 実績
					300	303

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	各校区において、ニュースポーツ教室を定例的に実施され目標を大きく上回った。佐賀市まなざしスポーツ・レクリエーション祭は、ここ数年参加人数が減少していたが、令和6年度は参加者数が増加し、目標値を達成することができた。

今後の改善策、対応策等

スポーツ推進委員は、地域に根ざしたスポーツ推進に欠かせない存在となっているが、一方で地域によっては認知度が低く、活動が停滞している校区も見受けられる。健康づくりの面でもスポーツの実施は重要であり、スポーツ推進委員の活動に対する期待は大きく、今後も実技研修会等を通して、個々の指導技術のレベルアップを図り、ニュースポーツの普及や地域スポーツの推進のための更なる活動が必要である。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	総合型地域スポーツクラブとは、多世代、多種目、他志向で活動する地域住民が、自主的・主体的に運営するスポーツクラブで、スポーツの振興のみならず、地域の核としてコミュニティ形成にも寄与する。既存のクラブには、広報等で市民の入会、参加を支援するとともに、新規クラブには、2年間の設立支援補助を行う。				
事業の対象者	市民				
令和6年度主な活動実績	佐賀県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会研修会に出席し、県内各クラブ及び先進都市におけるクラブとの情報交換を行った。また、「佐賀市総合型地域スポーツクラブ連絡会」で加盟8クラブの情報交換会を2回開催した。 クラブ設立支援のための補助を1件行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	46	34	0	174	150
うち佐賀市の負担額	46	34	0	174	150

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
総合型地域スポーツクラブ会員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,097	1,120 1,190	1,150 1,166	1,180 1,507	1,200 2,172		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	1クラブが新たに設立されたことや、各クラブ、市の会員募集の広報により、会員数は目標を大きく上回った。

↓

今後の改善策、対応策等

国の「第3期スポーツ基本計画」では、総合型地域スポーツクラブの質的充実が求められている。総合型地域スポーツクラブの普及は、スポーツ人口増の解決策となり得るだけでなく、地域のつながりを強める上でも重要な施策である。特に部活動の地域展開に伴い受け皿となる可能性が高い。また、平成27年度に設立した「佐賀市総合型地域スポーツクラブ連絡会」を通じて、総合型クラブ間での情報交換や交流の機会を設け、各クラブの自立促進を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	さが桜マラソン大会開催事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	さが桜マラソンを開催することにより、多くの市民にスポーツをする（ランナー）、みる（応援）、ささえる（ボランティア）活動への参画を推進する。 ■主催 佐賀新聞社、佐賀陸上競技協会、佐賀県、佐賀市、神崎市 ■日時 3月第3または第4日曜日に開催				
事業の対象者	市民全般				
令和6年度主な活動実績	さが桜マラソン2025大会を佐賀新聞社、佐賀陸上競技協会、佐賀県、佐賀市、神崎市の5団体で開催・運営した。 ランナーと市民の交流、ランナーの満足度向上のため、市独自でランナーズナイト（前夜祭）を開催 桜ステーションの運営、花いっぱいプロジェクト等に取り組んだ。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,259	10,610	25,310	24,518	29,990
うち佐賀市の負担額	4,347	4,498	16,707	17,968	26,771

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
マラソン大会参加者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
2,943	10,000	10,000	10,000	10,000	2,218	7,816
					8,125	9,711

成果指標②						単位
ボランティアスタッフ数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
-	3,000	3,100	3,100	3,100	-	2,600
					2,200	2,200

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	参加申込時点では参加定員（目標）に達したが、当日の体調等により出走者が1割程度減った。ボランティアは、自治会や企業などの団体での応募が横ばいとなっており、目標を下回っている。

今後の改善策、対応策等

成果指標①（マラソン大会参加者数）・・・参加申込者数を維持できるようランナーにとって安全安心な環境づくり及び道沿応援や佐賀の特産物のふるまいなどのおもてなしの充実を図り、より魅力的な大会を目指す。
 成果指標②（ボランティアスタッフ数）・・・大会に向け、コース沿線住民や市内の事業所など佐賀市民の機運醸成を図る情報発信を行い、楽しみながら、活動ができる環境づくりを実施する。また、ボランティアの活動の様子を積極的に発信し、市民や事業者の参加意欲を醸成する。ボランティアユニフォームにPR枠を設定し、事業所やグループがボランティアに参加する動機づけを図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツボランティア登録・養成事業	事業期間	令和 4 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	スポーツを「ささえる」人材を佐賀市スポーツボランティアとして登録し、ボランティアが活躍できる環境を提供することにより、市民のスポーツとの関わりを把握するとともに、スポーツを「する」人材の参加促進が相乗的に得られる良好な環境を創出する。				
事業の対象者	佐賀市民及び佐賀市に在学・在勤の18歳以上の者				
令和6年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツボランティアへの登録者を増やすため、チラシを配布するなど広報活動を実施した。 ・ボランティア参加の機運醸成を図るため、ボランティアの魅力とやりがい、存在意義を伝えるスポーツボランティア研修会を実施した。 ・登録者に対し、大会等のボランティア募集情報を周知することでボランティア活動の機会の創出を図った。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額			487	185	65
うち佐賀市の負担額			487	185	65

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ボランティア登録者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
			100	150	96	
		65	72			

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	ボランティア登録者数は増加したものの、目標達成には至らなかった。

↓

今後の改善策、対応策等

スポーツボランティアの必要性ややりがい・体験談を広報して、ボランティアに関心を持っていただき、人材の確保に努める。また、スポーツボランティア登録者に引き続き、スポーツ大会、イベントでのボランティア募集情報を提供して活動の機会を増やすとともに、知人・友人に体験の感想を伝えてもらい、さらなる登録者・参加者増に協力してもらおう。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	アーバンスポーツ推進事業	事業期間	令和 6 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	子どもや若者に人気があるスケートボードなどのアーバンスポーツを活用し、まちの賑わいづくりやスポーツ実施率の向上を図る。				
事業の対象者	市民全般				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スポテンSAGAの開催 ・スケートボード場整備に向けた実証実験 ・屋外用移動式ミニバスケットゴールの設置 ・屋外イベント貸出用バスケットゴールの購入 ・BMX団体主催のイベントPR 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額					3,396
うち佐賀市の負担額					3,396

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
アーバンスポーツ体験会						件
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
					2	2

成果指標②						単位
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	市民活動プラザフェスタと共同でスポテンSAGAを開催。BMX、スケートボード、3×3バスケットボールの体験等により、普及活動ができた。また13回のスケートボード体験会には延べ221人の参加があり、アーバンスポーツへの関心が高まっていると考える。

今後の改善策、対応策等

スケートボードについては、利用者のニーズに応えるためにも実証実験（体験会）を継続し、多年代のニーズを探り、それによって起こりうる管理問題を深掘りしていき練習場の設置に向けた検討を進める。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	各種スポーツ大会開催補助事業	事業期間	昭和 40 ～ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	スポーツの競技大会は参加する競技者にとって日ごろの練習の成果を発揮する場であると同時に、市民にとってはアスリートの姿を目にすることができる絶好の機会になり、競技力向上や競技人口の増加にもつながる。生涯スポーツ、競技スポーツどちらにおいても推進を図っていくために必要な支援でスポーツ大会開催団体へ補助金を交付し、大会の円滑な運営を図る。補助を通してより充実した大会が開催されることによりスポーツへの参加を促し、周知啓発に資する。				
事業の対象者	市民全般				
令和6年度 主な活動実績	神代勝利公顕彰第12回三瀬旗少年剣道大会 第61回全九州ろうあ者スポーツ大会in佐賀 第65回郡市対抗県内一周駅伝大会				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	100	100	1,800	2,660	1,050
うち佐賀市の負担額	100	100	100	260	250

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
大会参加人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
143	2,600 143	2,650 1,566	2,700 1,974	2,750 1,387		

成果指標②						単位
日常的に（週に1回以上）スポーツをしている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
50.8	52 50	55 50.6	58 54.5	60 55.3		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	SAGA 2024 国スポ・全障スポの影響で中止された大会があり、参加人数は目標達成には至らなかった。

今後の改善策、対応策等

大会をささえるスポーツ指導者や地域スポーツ団体、選手やボランティアの参加促進を図り、市民のスポーツ（「する」、「みる」、「ささえる」）に対する関心を高める。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	公益財団法人佐賀市スポーツ協会との連携経費	事業期間	昭和 40 ～ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	公益財団法人佐賀市スポーツ協会（佐賀市スポ協）は、校区スポ協（体協）や競技団体の育成、選手の強化、大会主催等の事業を通し、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、市民の健全な心身の発達に取り組む団体である。スポ協に補助金を交付することにより、スポ協と連携して佐賀市の社会体育の健全な普及・発展を推進する。				
事業の対象者	市民				
令和6年度主な活動実績	各種大会やスポーツ教室等の開催、市主催スポーツイベントへの協力等により、本市のスポーツ振興に取り組んだ。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	32,985	31,655	37,691	37,363	38,778
うち佐賀市の負担額	32,985	31,655	37,691	37,363	38,778

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市スポーツ協会主催事業等参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,063	6,500 5,465	6,700 6,135	6,900 4,602	7,000 4,425		

成果指標②						単位
日常的に（週に1回以上）スポーツをしている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
50.8	52 50	55 50.6	58 54.5	60 55.3		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	市民スポーツ大会では、「SAGA 2024 国スポ・全障スポ」に配慮し実施しなかった競技もあるが、選手が揃わず棄権した校区（地区）もあり、参加者数が減少している。新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、日常的に（週に1回以上）スポーツをしている市民の割合は増加し

今後の改善策、対応策等

公益法人として公益目的事業の推進が必要であり、今後スポーツ大会のほか、スポーツが苦手な人や初心者に参加しやすいスポーツ教室の拡充等事業展開に加え、少年スポーツにおける指導者向けの研修会の開催を連携しながら行ってきたい。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民スポーツ大会開催経費	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<p>■概要 市民スポーツの祭典として小学校区・地区対抗で得点を競う。県民スポーツ大会の予選を兼ねる競技もある。(得点競技19競技、オープン競技8競技)</p> <p>■目的 市民のスポーツに参加する意欲と関心を盛り上げ、スポーツが生活の中に密着し、健康で明るい郷土づくりに寄与するため、市民スポーツの祭典として開催する。</p>				
事業の対象者	市民				
令和6年度主な活動実績	令和6年度第77回佐賀市民スポーツ大会は、SAGA 2 0 2 4 国スポ・全障スポに配慮し、得点競技14競技、オープン競技3競技のみで開催。県大会は中止となった。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	47	2,813	3,280	3,129	2,550
うち佐賀市の負担額	47	2,813	3,280	3,129	2,550

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市民スポーツ大会参加チーム数						チーム
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
-	480	500	500	500	500	339
	339	369	311	284		

成果指標②						単位
市民スポーツ大会参加者数						人
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
-	6,000	6,200	6,200	6,200	6,200	4,374
	4,374	4,930	4,038	3,128		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	SAGA 2 0 2 4 国スポ・全障スポに配慮し、実施しなかった競技もあるが、選手が揃わず棄権した校区(地区)もあり、参加チーム数、参加者数ともに目標までは達していない。

↓

今後の改善策、対応策等

競技人口が減少している、または参加校区が少ない競技については、競技団体や校区スポーツ(体育)協会に、対象競技の体験教室や校区内での大会開催を働きかける。一方、市民のニーズに応じた競技への変更や、熱中症対策を含めた市民が参加しやすい時期等の検討を進める。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

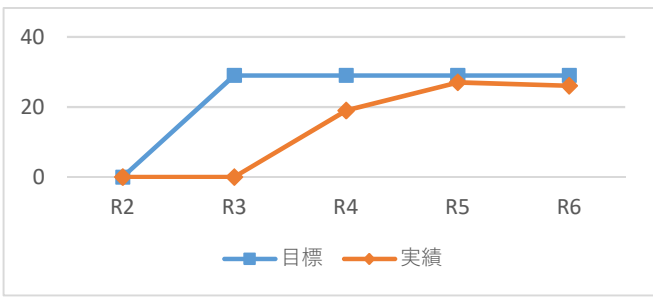
事務事業名	校区対抗駅伝大会開催事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	駅伝競技に親しむことにより健康と体力の維持・増進を図ることを目的として、市と（公財）佐賀市スポーツ協会との共催で、佐賀市干潟よか公園周辺にて校区（地区）対抗駅伝大会を開催する。				
事業の対象者	佐賀市民				
令和6年度 主な活動実績	令和6年度第73回佐賀市校区対抗駅伝大会を令和7年1月19日に開催した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	62	30	146	164	159
うち佐賀市の負担額	62	30	146	164	159

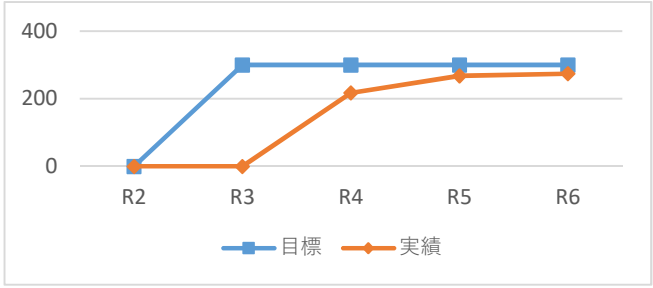
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
大会参加校区						区
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	29	29	29	29		
	-	19	27	26		



Year	Target	Actual
R2	29	0
R3	29	0
R4	29	19
R5	29	27
R6	29	26

成果指標②						単位
参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	300	300	300	300		
	-	217	268	274		



Year	Target	Actual
R2	300	0
R3	300	0
R4	300	217
R5	300	268
R6	300	274

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	大会参加校区、参加者数ともにほぼ横ばいであり、目標達成には至っていない。

↓

今後の改善策、対応策等

校区（地区）対抗の駅伝大会であるが、すべての校区（地区）からの参加に至っていないため、参加していない校区（地区）への参加の呼びかけを積極的に行う。また、人口の少ない校区(地区)については、他校区（地区）との合同参加を検討してもらうことで、参加者数の増加を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツ合宿推進事業	事業期間	平成 26 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツコンベンション推進室	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内でスポーツ合宿を行うアマチュア団体に延べ宿泊数に応じて補助金を交付し、スポーツ合宿による交流人口の拡大を図る。佐賀市スポーツキャンプ誘致・交流推進協議会において、国内外のトップレベルチームの合宿・キャンプの誘致、受入れ、市民との交流の機会創出に取り組み、トップレベル選手のトレーニングの様子を見たり、選手等との交流をきっかけにして日常的にスポーツを行う市民を増やす。				
事業の対象者	市外の中学生以上のアマチュアスポーツ団体、プロ、国内・海外代表スポーツチーム等、選手等と交流する市民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿補助金の交付 延べ17団体 ・トップレベルチーム等合宿の受入れ 1団体 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,459	2,329	3,036	3,842	4,703
うち佐賀市の負担額	5,459	2,329	3,036	3,842	4,703

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
スポーツ合宿実施団体						団体
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
3	7	8	9	10	6	12
						17

成果指標②						単位
日常的に（週に1回以上）スポーツを行っている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
50.8	57	58	59	60	50	50.6
						54.5
						55.3

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	SAGA 2024 国スポ・全障スポ開催を契機として県内選手の競技力が向上し、県内の学校との練習試合、合同練習等を目的とした合宿の相談や実施件数が増加した。

今後の改善策、対応策等

合宿だけでなく大会誘致も視野に入れて活動し、トップレベルの技術を「みる」機会を増やす。国内外のトップチームの合宿やキャンプ等の際に、市民交流や競技指導・指導者講習の機会をつくるとともに、HP、SNS等の媒体を活用して練習見学を促す等、トップレベルの技術にふれる機会を増やすことで、市民のスポーツ実施意欲を高める取組を行っていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツ指導者育成事業	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	生涯を通じてスポーツに関わる習慣を身につける重要な準備期であるジュニア期におけるスポーツのあり方等について、少年スポーツ指導者や保護者対象の研修会を開催して、指導に関する最新の情報を提供し、少年スポーツにおける正しい指導法の確立を支援する。				
事業の対象者	少年スポーツ指導者・保護者、競技団体				
令和6年度 主な活動実績	少年スポーツ指導者・保護者等を対象に、少年スポーツ研修会を開催した。 所定の資格を取得しようとする少年スポーツ指導者に対し、資格取得にかかる経費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	808	111	221	285	130
うち佐賀市の負担額	808	111	221	285	130

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
研修会参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
54	70 22	80 41	90 63	100 64		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	参加者数は増加傾向にあるものの、目標達成には至らなかった。

今後の改善策、対応策等

少年スポーツ指導者の資質向上及び指導力向上を図るため、引き続き、指導者・保護者対象の研修会を開催する。また、参加者の増加を図るため、指導者等の関心が高い内容を研修会内容とする。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	各種大会出場助成事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	社会体育で活動している本市の小学校の児童及び中学校の生徒が九州規模以上のスポーツ大会等に出場する場合、その活躍を祈念し激励することを目的として、激励金を支給する。 また、市内の高等学校が、部活動において佐賀県代表として全国規模の大会に出場する場合に要する経費に対して、一部を補助金として交付する。
事業の対象者	市内の児童・生徒
令和6年度 主な活動実績	九州大会以上の大会に出場する小中学生及びスポーツ競技の全国高等学校大会に出場する高等学校に対し、激励金等を交付した。

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,049	2,469	4,937	5,484	6,266
うち佐賀市の負担額	1,049	2,469	4,937	5,484	6,266

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
補助金交付件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	5 3	7 4	9 7	10 6		

成果指標②						単位
激励金交付人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
130	500 333	520 666	540 632	560 822		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	小中学生に対する激励金の交付人数は、目標を大きく上回っている。全国高等学校大会に出場する高校に対する補助金の交付件数はほぼ横ばいである。

今後の改善策、対応策等

より多くの児童・生徒が大会へ出場できるよう、競技人口の少ない競技なども広く支援していく。また、引き続き、制度の周知に努める。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	アスリート育成支援事業	事業期間	令和 5 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	競技スポーツの推進を目的として、県や関係機関と連携し、市外、県外から佐賀県内へ進学した高校生アスリートが入寮する寮の運営団体に補助金を交付する。				
事業の対象者	合同会社SAGAいくすと				
令和6年度 主な活動実績	アスリート寮「AdmiS ON SAGA」の運営経費の補助を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額				2,000	2,000
うち佐賀市の負担額				2,000	2,000

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
入寮生						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
			48	50	69	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	入寮生の人数は目標を大きく上回っている。

↓

今後の改善策、対応策等

引き続き、アスリート寮の運営を支援し、高校生アスリートが安心してスポーツに打ち込める環境を維持する。また、入寮者と市内の高校生が切磋琢磨することで、市内のアスリートの競技力向上を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	パリ2024オリンピック・パラリンピック選手応援・支援事業	事業期間	令和6～令和6年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	パリ2024オリンピックに出場した佐賀市在住の選手の活躍を祈念し、激励の意を表すため、激励金を交付した。また、出場決定やメダル獲得を祝した懸垂幕を掲出し、市民一体となって応援する機運醸成に取り組んだ。				
事業の対象者	パリ2024オリンピック出場選手				
令和6年度 主な活動実績	激励金の交付 出場決定・メダル獲得祝懸垂幕掲出				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額					505
うち佐賀市の負担額					505

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
オリンピック・パラリンピック出場者						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
					4	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和6年度は基準値となるため、令和6年度の実績結果から記載

↓
今後の改善策、対応策等

令和6年度で事業終了

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀バルナーズ連携事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツコンベンション推進室	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市をホームタウンとして活動するプロバスケットボールチーム「佐賀バルナーズ」と締結した連携協定に基づき、B1リーグ戦ホームゲームへの集客支援や応援機運醸成策を講じて、市民等がスポーツ観戦を楽しむ機会を創出するとともに、交流人口の拡大による地域経済の振興を図る。				
事業の対象者	市民、佐賀バルナーズを応援する市民等				
令和6年度主な活動実績	佐賀市マッチスポンサーの開催2試合（2/8・9）、ホームタウン連携広報（まるわかりガイド作成・全戸配布、テレビCMや新聞等の各種媒体を活用した広報、ラッピングバスの運行等）、市民等観戦招待（2,947人）、保育施設等への室内用ミニバスケットボール・ゴール贈呈（34園）、B1リーグホームゲーム値引きチケット販売等（1,649枚）、子育てママのスポーツ教室の開催（4クール計8回）、「夢」先生の開催（市内中学校5校）佐賀県プロバスケットボール振興協議会へ負担金拠出（バスケット巡回スクール：保育園・幼稚園19園、小学校6校、バスケットボールクリニック：小学4年生～中学3年生25人等）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	588	5,754	21,264	52,599	48,678
うち佐賀市の負担額	588	2,108	7,503	7,304	4,990

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ホームゲーム観戦者数						人
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	
17,488	22,400	48,048	120,000	135,000		
	16,351	40,164	151,827	153,332		

成果指標②						単位
日常的に（週に1回以上）スポーツを行う市民の割合						%
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	
50.8	57	58	59	60		
	50	50.6	54.5	55.3		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	B1リーグ2年目は前シーズンの観戦者数から微増となったが、SAGAアリーナでの最高入場者数を更新するなど、クラブの存在が市民等のスポーツへの興味関心を高めている。

今後の改善策、対応策等

市民等が直接選手等と触れあう機会を増やすことで、地域に根差した「市民クラブ」として、ファンの裾野を広げ、観戦のきっかけにつながるのと同時に、更に、観戦がスポーツ実施のきっかけとなるように、クラブを活用した様々な取組みを実施していく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	サガン鳥栖交流宣言事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツコンベンション推進室	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	まちづくりの一環としてプロスポーツを通じた青少年の人材育成、スポーツ振興等を図ることを目的にサガン鳥栖と締結した交流宣言に基づき、両者の広報媒体を活用した広報協力や市民とサガン鳥栖との交流活動等を行い、サガン鳥栖の活動を通してスポーツへの関心を喚起するとともに市民のスポーツ実施率を向上させる。				
事業の対象者	市民、サガン鳥栖を応援する市民等				
令和6年度 主な活動実績	マッチスポンサーの実施 1回 (7/14) 地域担当選手 (檜原慶輝選手) の配置による情報発信 巡回サッカー教室の実施 小学校 3校 サガン鳥栖「夢」先生の実施 中学校 3校 サガン鳥栖ホームゲーム及びサガン鳥栖U-18の試合結果の広報 33回				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,671	26,403	11,864	11,852	9,445
うち佐賀市の負担額	4,671	4,552	1	2	1,629

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
日常的に (週に1回以上) スポーツを行う市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
50.8	57 50	58 50.6	59 54.5	60 55.3		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	選手等との交流や子どもたちへのサッカー教室の実施など、スポーツに興味関心を持ってもらう事業に継続して取り組み、日常的に (週に1回以上) スポーツを行う市民の割合は向上している。

↓

今後の改善策、対応策等

サッカー教室、「夢」先生などで、子どもたちと選手やコーチ等との直接的な触れ合いを継続し、運動・スポーツの楽しさを感じる機会を創出し続けるとともに、選手等を活用して、子どもの頃から運動・スポーツに関心を持ち、将来にわたってスポーツを実施するきっかけとなるよう積極的に情報発信していく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市民運動広場運営事業	事業期間	平成 1 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(面積)19,548㎡野球1面、ソフトボール1面、サッカー1面、夜間照明(開館時間)日の出から午後9時まで。				
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者				
令和6年度 主な活動実績	平成28年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、グラウンド整備等、施設の適正な管理・運営を図っている。平成28年度から令和2年度の更新を経て、令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市スポーツ協会。 スポーツ大会の開催やスポーツ利用の促進に取り組んだ。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,100	1,208	1,208	2,250	1,239
うち佐賀市の負担額	1,100	1,208	1,208	2,250	1,239

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
27,116	30,000 27,470	31,500 29,730	32,000 29,153	32,500 20,443	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
29	50 39	70 36	75 34	80 28	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	9月と10月は、SAGA2024国スポの駐車場として利用されていたため、利用者数と稼働率ともに前年度の実績を下回った。

↓

今後の改善策、対応策等

施設外への飛球の飛び出しによる事故防止の観点から、野球とソフトボールの利用は練習のみとしているため、試合実施時の会場レイアウトを検討する。また、その他の競技(グラウンドゴルフやサッカー等)で利用促進を図り、施設利用者の増加を目指す。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀勤労者体育センター運営事業	事業期間	昭和 55 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(アリーナ)1,085㎡ バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン8面、卓球台16台(2階)140㎡、(開館)午前9時～午後9時30分
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者
令和6年度 主な活動実績	平成18年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市スポーツ協会(当初からの継続)。スポーツ大会の開催及びスポーツ利用の促進に取り組んだ。

決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	18,816	15,146	13,958	13,861	14,507
うち佐賀市の負担額	13,725	13,582	13,958	13,861	14,507

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
44,095	48,000 46,477	52,000 48,640	54,000 49,204	56,000 49,638		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
80	85 85	88 86	90 63	92 74		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	利用者数と稼働率ともに目標達成には至らなかったが、定期利用団体が増加したことにより、前年度の実績を上回ることができた。また、指定管理者による自主事業を開催したことで施設利用者が増加した。

今後の改善策、対応策等

指定管理者による自主事業(教室・イベント等)の実施回数を増やし、スポーツ活動の普及と施設利用者の増加を図る。また、よりよいサービスを提供するために、施設の維持管理や環境整備を徹底する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市立野球場・弓道場管理運営事業	事業期間	平成 8 ～ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】野球場(面積)12,613㎡(観客席)内野2,400人(開館時間)午前9時～季節により変動 弓道場(近的)28m、10人立(遠的)60m、6人立(開館時間)午前9時～午後9時30分
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者
令和6年度 主な活動実績	平成18年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市スポーツ協会(当初からの継続)。スポーツ大会の開催やスポーツ利用の促進に取り組んだ。

決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,124	18,535	17,637	17,563	18,450
うち佐賀市の負担額	17,124	18,535	17,637	17,563	18,450

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
18,931	19,000 22,182	19,500 24,662	20,000 24,284	20,500 21,473		

Year	Target (目標)	Actual (実績)
R2	18,931	19,000
R3	20,000	22,182
R4	20,000	24,662
R5	20,000	24,284
R6	20,500	21,473

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
37	45 45	50 47	52 43	55 47		

Year	Target (目標)	Actual (実績)
R2	37%	37%
R3	45%	45%
R4	50%	47%
R5	52%	43%
R6	55%	47%

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	前年度から利用者数は減少しているが、1団体あたりの利用時間が増加しているため、稼働率は上昇している。

今後の改善策、対応策等

施設の適切な維持管理を徹底し、サービス向上に努め、利用者の満足度を高める。施設の広報活動、大会や合宿の誘致にも力を入れ、施設利用者の増加を図る。また、施設の老朽化が進んでいるため、修繕、改修等を検討し、利用しやすい環境を整える。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市立体育館・テニスコート運営事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(競技場)1,221㎡ バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン8面、卓球台24台 トレーニング室、ミーティング室、(テニスコート) 砂入り人工芝8面、夜間照明 (午前9時から午後9時30分)				
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者				
令和6年度 主な活動実績	平成18年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市スポーツ協会(当初からの継続)。体育館の空調設置、テニスコートの人工芝及び照明設備の改修工事を行ったことで、スポーツ大会の開催やスポーツ利用の促進に取り組んだ。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	16,637	15,543	13,467	14,748	13,909
うち佐賀市の負担額	16,637	15,543	13,467	14,748	13,909

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
100,781	110,000 101,175	120,000 83,346	125,000 108,606	123,000 111,878	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
74	80 75	85 54	87 75	90 72	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	利用者数は目標値の達成には至らなかったが、テニスコートとトレーニングルームの利用者数が増加したため、前年度の数値を上回ることができた。稼働率については、体育館の個人利用が減少したため、前年度の数値を下回った。

今後の改善策、対応策等

指定管理者による自主事業(教室・イベント)の充実を図り、施設利用を促進する。SNSや市報、ホームページを活用して施設の広報を行う。また、トレーニングルームの利用者数を増加させるため、計画的なトレーニング機器の更新を検討していく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	西神野運動広場運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(面積)10,200㎡、(開館時間)午前6時から午後7時まで				
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者				
令和6年度 主な活動実績	平成18年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市スポーツ協会（当初からの継続）。スポーツ大会の開催及びスポーツ利用の促進に取り組んだ。 施設外への飛球の飛び出しによる事故防止のため、野球及びソフトボールの利用を禁止した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	465	627	627	627	643
うち佐賀市の負担額	465	627	627	627	643

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
12,722	16,000 11,732	18,000 10,529	18,500 10,194	19,000 8,326		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
31	33 38	35 38	38 35	40 30		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	野球とソフトボールの利用禁止や9月と10月のSAGA 2024 国スポ駐車場用地としての使用により、利用者数・稼働率ともに目標達成には至らなかった。

今後の改善策、対応策等

施設外への飛球の飛び出しによる事故防止の観点から、野球とソフトボールの利用ができないため、その他競技（グラウンドゴルフやサッカー、陸上等）での利用者数増加を目指す。施設の認知度を上げる方策を検討し、定期利用団体だけでなく、新規利用者の獲得を当面の目標とする。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	春日運動広場管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(運動場)12,388㎡ 野球2面、ソフトボール2面 (テニスコート)クレーコート4面、(開館時間)日の出から日没まで
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者
令和6年度 主な活動実績	平成29年度から指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理・運営を図っている。令和4年度から令和8年度までの指定管理者は(公財)佐賀市スポーツ協会(当初からの継続)。スポーツ大会の開催及びスポーツ利用の促進に取り組んだ。

決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,253	1,253	1,253	1,253	1,253
うち佐賀市の負担額	1,253	1,253	1,253	1,253	1,253

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
21,326	27,000 18,053	30,000 18,469	32,000 17,179	34,000 14,992		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
25	28 25	30 21	32 22	34 16		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	9月と10月はSAGA2024国スポの駐車場用地として利用されていたため、利用者数が減少した。また、大会の開催が減少傾向にあり、利用者低下の要因となっている。

今後の改善策、対応策等

施設の広報に取り組み、新規利用者の獲得を当面の目標とする。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	大和勤労者体育センター・大和中央公園体育施設管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】アリーナ、卓球場、グラウンド、夜間照明、テニスコートハード2面・クレー2面 (開館時間)午前9時(屋外は日の出)～午後9時30分
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者
令和6年度 主な活動実績	平成19年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市スポーツ協会(当初からの継続)。スポーツ大会の開催及びスポーツ利用の促進に取り組んだ。

決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	19,023	15,025	14,722	14,519	14,303
うち佐賀市の負担額	17,802	14,527	14,722	14,519	14,303

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
52,269	70,000 61,943	75,000 64,784	76,000 65,419	77,000 59,621		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
31	35 35	40 34	41 35	42 38		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	9月と10月はグラウンドがSAGA2024国スポの駐車場として利用されたため、利用者数が減少した。しかし、9月と10月を除いた期間の定期利用者の使用、大会数の増加が要因となり、稼働率が上昇した。

今後の改善策、対応策等

定期利用団体や大会数の更なる増加を図るために、施設の広報や指定管理者による自主事業の開催に取り組み、施設利用を促進する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	富士運動広場管理運営事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(運動広場)8,500㎡野球・ソフトボール1面、夜間照明施設(屋内練習場)350㎡、 (開館時間)運動広場:日の出から午後10時、屋内運動場:午前8時から翌日午前8時				
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者				
令和6年度 主な活動実績	グラウンド整備やトイレ清掃は業務委託を行った。また、利用申請受付・使用料徴収等は富士支所で対応し、施設の適正な管理・運営を図っている。 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、スポーツ大会の開催及びスポーツ利用の促進に取り組んだ。施設安全面の観点から相撲場を撤去した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,476	1,039	1,727	1,976	1,460
うち佐賀市の負担額	4,476	1,039	1,727	1,976	1,460

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
6,607	6,800	5,925	7,000	5,905	7,200	3,390
					7,400	3,322

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
13	14	24	15	15	16	11
					17	15

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	9月と10月はSAGA2024国スポの駐車場として使用されていたが、グラウンドゴルフの利用頻度が増加したことで運動広場の利用者数は増加した。しかし、屋内練習場の利用者数が大幅に減少していた。

今後の改善策、対応策等

利用者数が年々減少傾向にあるため、市民や地域に向けた施設の広報に力を入れていく。運動広場は、野球やソフトボールの利用者が減少し、グラウンドゴルフ等での利用が増加しているため、地域行事やイベントでの利用促進を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬グラウンド管理運営事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(面積)9,650㎡ 野球1面、ソフトボール2面、夜間照明(開館時間)日の出から午後10時				
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者				
令和6年度主な活動実績	三瀬グラウンドのグラウンド整備やトイレ清掃は業務委託を行った。また、利用申請受付・使用料徴収等は三瀬支所に対応し、施設の適正な管理・運営を図っている。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,814	1,387	1,413	1,384	1,629
うち佐賀市の負担額	1,814	1,387	1,413	1,384	1,629

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4,767	8,000 4,952	10,000 5,574	10,500 6,394	11,000 5,357		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
17	18 23	19 16	20 17	21 17		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	市外利用者が約半数を占めており、市内利用者を確保できなかったことから利用者数が減少した。稼働率については、前年度の数値から横ばいである。

↓

今後の改善策、対応策等

県外の利用者が多く、施設利用者の約半数を市外者が占めている。大会や地元行事での利用を促し、市内者の利用増加を図る。また、引き続き適切な施設の維持管理に取り組み、利便性や利用満足度の向上を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬勤労福祉センター管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(競技場)787㎡ バレーボール2面、バドミントン3面、剣道4面、卓球台5台(開館時間)午前9時から午後10時				
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者				
令和6年度 主な活動実績	体育館の床・窓の清掃、トイレ清掃、消防設備点検は業務委託を行った。また、利用申請受付・使用料徴収等は三瀬支所に対応し、施設の適正な管理・運営を図っている。 スポーツ大会の開催及びスポーツ利用の促進に取り組んだ。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,613	1,625	2,154	1,711	1,990
うち佐賀市の負担額	1,613	1,625	2,154	1,711	1,990

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,314	5,000 3,632	5,500 4,479	5,600 3,905	5,700 4,586		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
18	22 34	24 19	25 19	26 24		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	利用者数と稼働率ともに目標達成には至らなかったものの、市外利用者の増加により、前年度の数値を上回ることができた。

↓

今後の改善策、対応策等

市外利用者が約半数を占めているため、大会や地元行事での利用を促進し、市内者の利用増加を図る。また、引き続き適切な施設の維持管理に取り組み、利便性や利用満足度の向上を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬プール管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】25m×5コース(内1コース徒歩用)、シャワー室、更衣室、交流室25㎡ (開館時間)午前10時から午後4時※7月下旬～8月末のみ開館				
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者				
令和6年度 主な活動実績	水質検査、設備点検は業務委託を行った。また、利用受付・使用料徴収等は会計年度任用職員で対応し、施設の適正な管理・運営を図っている。 ※令和6年度はプール監視員の人員を確保することができなかったため、一般利用の開館を中止した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	304	560	681	590	914
うち佐賀市の負担額	304	560	681	590	914

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	1,800 1,373	1,900 1,587	2,000 1,064	2,100 552		

成果指標②						単位
使用料収入						円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	2,000 0	2,500 0	3,000 0	3,500 0		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	学校プールは開放されたが、一般利用の開放はプール監視員を確保することができなかったため、実施していない。そのため、利用者数と使用料収入は目標を達成することができなかった。

↓

今後の改善策、対応策等

一般利用の開放に向けて、プール監視員の人員を確保し、安心・安全な利用ができるように努める。プール監視員の確保し、一般開放の実施を当面の目標とし、市民がスポーツに触れる機会を提供できるよう努める。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツパーク川副・川副運動広場管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】多目的広場、夜間照明、体育センター、トレーニングルーム、バラエティールーム、剣道場、柔道場、弓道場、近的射場3人立、川副運動広場(開館時間)午前9時から午後10時				
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者				
令和6年度 主な活動実績	平成22年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和2年～令和6年度までの指定管理者は非営利特定法人かわそスポーツクラブ（当初からの継続）。 スポーツ大会の開催及びスポーツ利用の促進に取り組んだ。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	31,036	31,526	31,297	36,620	36,481
うち佐賀市の負担額	31,036	31,526	31,297	36,620	36,481

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
85,571	95,000 90,280	100,000 99,006	105,000 93,516	106,000 90,815	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
37	38 48	39 41	40 50	41 50	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	スポーツパーク川副においては、大会数や定期利用団体の利用回数の減少により、利用者数の減少がみられた。しかし、川副運動広場の利用件数と利用者数が増加したため、稼働率は前年度の数値から変動はなかった。

今後の改善策、対応策等

施設の適正な維持管理と、サービスの向上により利用しやすい環境づくりに努める。計画的なトレーニング機器の更新を検討し、トレーニングルームの利用者数増加を目指す。また、施設の老朽化が進んでいるため、施設の修繕・改修を検討し、利用しやすい環境を整える。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東与賀運動公園体育施設管理運営事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(運動広場)15,280㎡ 野球・ソフトボール1面、夜間照明、テニスコート砂入り人工芝2面・クレー2面、夜間照明、スポーツルーム(開館時間)日の出から午後9時30分(屋内は午前8時30分から午後10時)				
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者				
令和6年度 主な活動実績	平成28年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、グラウンド整備等、施設の適正な管理・運営を図っている。平成28年度から令和2年度の更新を経て、令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市スポーツ協会。 スポーツ大会の開催及びスポーツ利用の促進に取り組んだ。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,828	7,295	8,775	7,487	8,164
うち佐賀市の負担額	7,828	7,295	8,775	7,487	8,164

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
30,992	31,000 31,782	32,000 38,083	33,000 34,792	34,000 34,101	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
19	20 27	21 24	22 21	23 20	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	利用者数は前年度よりも減少しているが、目標値を達成することができた。稼働率は令和3年度から低下傾向にある。

↓

今後の改善策、対応策等

指定管理者による自主事業等(教室・イベント)の充実を図り、市民がスポーツに触れる機会を増やしていく。また、施設の広報に取り組み、施設の認知度向上・利用者の増加を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	久保田グラウンド管理運営事業	事業期間	平成 19 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(グラウンド) 10,135㎡、野球・ソフトボール1面、夜間照明 (開館時間)日の出から午後10時(12月から3月の間は日没)まで				
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者				
令和6年度 主な活動実績	通常は、グラウンド整備やトイレ清掃は業務委託を行い、利用申請受付・使用料徴収等は久保田支所に対応し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整など、施設の適正な管理・運営を図っている。 スポーツ大会の開催及びスポーツ利用の促進に取り組んだ。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,681	4,007	2,182	10,860	1,313
うち佐賀市の負担額	4,681	4,007	2,182	10,860	1,313

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,100	15,000 9,913	16,000 12,398	17,000 10,191	18,000 14,591		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	25 31	30 32	32 28	34 29		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	利用者数と稼働率ともに目標値に達成することができなかったが、グラウンドゴルフやサッカーの利用が増え、全体の利用者数が増加した。

↓

今後の改善策、対応策等

定期利用団体や大会数の増加を図るために、施設の広報や指定管理者による自主事業の実施を促し、施設利用を促進する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市健康運動センター管理運営事業	事業期間	平成 16 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	17健康づくりの推進と保健・医療の連携	
	基本事業	自主的な健康づくりの支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	運動を中心とした活動や交流を通し、心身の健全な発展に寄与すると共に、生活習慣病予防のための運動習慣の獲得、継続を目的とした施設。幼児期から高齢者、障がい者を対象とした様々な健康づくり事業を展開している。【施設の概要】屋内施設(25mプール、トレーニングルーム、スタジオ、入浴施設、多目的室など) 屋外施設(多目的グラウンド、ウォーキングコース、サッカー・ラグビー場など)				
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者				
令和6年度 主な活動実績	設立当初から指定管理者制度を導入し、令和6～10年度までの指定管理者はサガン・ドリームス/健康科学研究所/古賀商事 グループ(当初からの継続)。健康講話、食事相談、水泳教室、親子ふれあいサッカー教室、子どもカラダづくり運動教室等の事業を実施した。プールの災害復旧工事が完了し、本格的なプール運営を再開することができた。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	183,052	191,072	175,060	173,185	176,475
うち佐賀市の負担額	180,845	187,577	175,060	173,185	176,475

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
205,895	260,000 186,391	270,000 217,171	275,000 234,564	280,000 267,123	

成果指標②					単位
稼働率(屋外施設のみ)					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
35	40 40	41 43	42 47	43 52	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	利用者数は目標値に至らなかったが、令和3年度から増加傾向にある。稼働率についても、年々上昇傾向にあり、目標値を達成することができた。

↓

今後の改善策、対応策等

令和7年度にサッカー・ラグビー場の芝改修工事を実施する予定であるため、改修後の施設PRに注力し、施設利用者の増加を図る。また、指定管理者による自主事業の実施機会を増やし、施設の利用者拡大を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	諸富文化体育館・諸富公園体育施設管理運営事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】アリーナ、トレーニング室、多目的室、(観客席)固定294席、移動1,000席、(開館時間)午前9時～午後10時/多目的広場、テニスコート、夜間照明(開館時間)日の出から日没(夏季のみ午後9時まで)
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者
令和6年度主な活動実績	平成19年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市スポーツ協会(当初からの継続)。スポーツ大会の開催及びスポーツ利用の促進に取り組んだ。

決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	36,254	38,694	40,429	37,807	36,653
うち佐賀市の負担額	35,192	38,694	40,429	37,807	36,653

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
60,293	85,000 73,660	90,000 83,100	95,000 91,693	100,000 70,517		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
35	38 45	40 41	41 39	42 30		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	体育館の空調設備工事により4月から7月までの期間を利用停止していたため、利用者が減少した。

今後の改善策、対応策等

稼働率が年々低下傾向にあるため、指定管理者による自主事業(教室・イベント)の充実を図り、施設利用を促進する。SNSや市報、ホームページを活用して施設の広報を行い、新規利用者の獲得を図る。また、施設の老朽化が進んでいるため、施設の修繕・改修を検討し、利用しやすい環境を整える。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

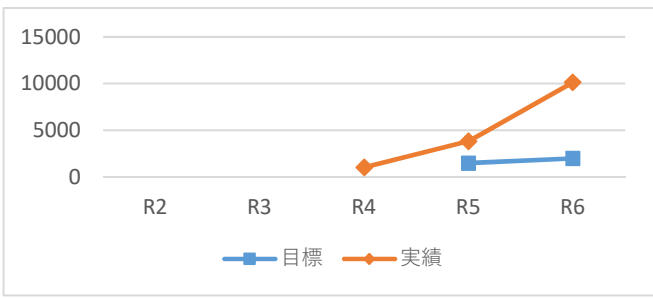
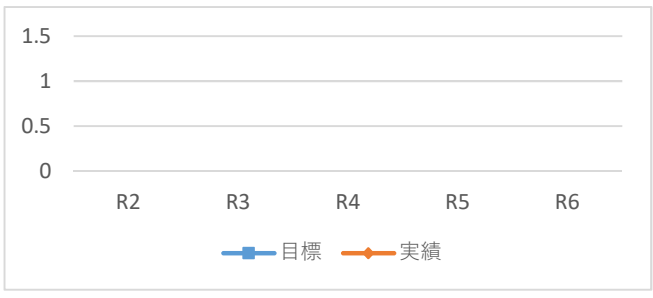
事務事業名	富士しゃくなげ湖水上競技場管理運営事業	事業期間	令和 4 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】管理棟207㎡、艇庫427㎡、ローイング（ボート）・カヌー兼用コース、リギング広場3,000㎡程度				
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者				
令和6年度主な活動実績	令和4年度5月に供用開始し、カヌー・ボート競技による強化練習、大会等を優先（SAGA2024国スポの開催まで予定）して稼動した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額			5,814	13,175	7,908
うち佐賀市の負担額			5,814	13,175	7,908

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
		1,044	3,821	10,129	1,500	2,000
成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	SAGA2024国スポの開催や定期利用団体の使用等により、前年度よりも大幅に利用者が増加した。

↓

今後の改善策、対応策等

9月と10月はSAGA2024国スポの開催により、利用者数が大幅に増加した。SAGA2024国スポまで、競技団体のみの利用に制限してしていたが、令和7年度から一般の利用を開始し、新たな利用者の確保を図る。今後は、地域特有の資源を活かし、中山間地域の拠点施設として賑わいづくりを模索しながら、令和9年度指定管理者導入を見据えたい。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	嘉瀬川河川敷グラウンドの管理運営	事業期間	昭和 53 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(面積)52,890㎡ 野球4面、(開館時間)日の出から日没まで				
事業の対象者	佐賀市民、市外・隣県からの施設利用希望者				
令和6年度 主な活動実績	グラウンドの整地や清掃等の維持管理に関しては競技団体に業務委託。 市民相談コーナーにて、施設の利用申請の受付を行った。 スポーツ大会の開催及びスポーツ利用の促進に取り組んだ。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,434	1,288	856	1,196	861
うち佐賀市の負担額	1,434	1,288	856	1,196	861

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
869	1,500 1,568	2,000 1,273	2,100 1,467	2,200 3,074		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
29	30 40	31 41	32 34	33 39		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	定期的に大会が開催されたことや平日の一般利用者が増加したことにより、施設の利用者数が増加した。

今後の改善策、対応策等

平日の一般利用者を確保できたことから利用者数の増加に繋がったため、施設の認知度向上の方策を検討し、競技団体だけでなく、新規利用者の獲得を目指す。また、維持管理や環境性を徹底し、サービスの向上を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	学校体育施設開放事業	事業期間	昭和 62 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 管理係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	学校教育に支障がない範囲で体育館などの学校体育施設を有効利用し、子どもの安全な遊び場及び地域住民の身近なスポーツ活動の場として活用している。				
事業の対象者	佐賀市民、市内在勤者、市内在学者				
令和6年度 主な活動実績	平成23年10月から使用料を無料（夜間照明を除く）に統一し、平成24年度からは学校体育施設開放運営委員会による管理運営を実施している。（現在52校）旧市内10小学校及び川副中学校テニスコートには夜間照明施設を設置している。 運営委員会と連携し、安心安全な利用の促進を図った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,331	5,022	5,020	4,870	5,283
うち佐賀市の負担額	5,331	5,022	5,020	4,870	5,283

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
642,529	658,600 576,942	691,500 723,445	708,800 677,749	726,500 720,823	

成果指標②					単位
利用件数					件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
37,224	38,100 34,829	40,000 37,126	41,000 38,539	42,000 40,416	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	目標達成には至らなかったが、定期利用者が増えたことより、件数と利用者数ともに増加した。

↓

今後の改善策、対応策等

地域の身近なスポーツ施設として、さらなる利用者数の増加を目指すために、社会体育用備品等の充実や利用しやすい運営体制の構築を図る。また、利用件数が年々増加していることから、管理運営方法の見直しを行い、学校の負担軽減に関する方策を検討していく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業費	事業期間	令和 1 ～ 令和 6 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課 スポーツ係	担当課長名	吉谷 隆幸
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	2024年（令和6年）に佐賀県で開催される国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会において、本市で開催する競技会の円滑な運営、また、大会全体の成功に向けて必要な事務及び事業を行う。				
事業の対象者	競技関係者（選手、役員等）、市外からの観客、市民				
令和6年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・諸会議の開催（総会、宿泊衛生専門委員会、実施本部会議） ・競技別リハーサル大会（4～6月に4競技（6種目））を実施し、本大会に向けた課題を検証。 ・SAGA2024国スポ佐賀市競技会（9～10月に15競技（20種目））を実施。 ・SAGA2024国スポに訪れる選手等や来場者をおもてなしするため、佐賀市文化会館におもてなし広場を設置。 ・応援企画により、市民の応援機運を高め、会場での応援につなげた。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	22,637	36,959	111,963	690,716	2,833,670
うち佐賀市の負担額	22,637	33,599	101,840	277,001	344,495

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位		
佐賀市内の国スポ・全障スポ認知度						%		
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績	R6 目標	R6 実績
76	65	68	75	84	85	97	95	99

成果指標②						単位		
ボランティア（広報・市民運動、競技会運営）の人数						人		
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績	R6 目標	R6 実績
0	20	22	200	239	1000	739	2000	739

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	広報活動（HP、SNS、マスメディア）やイベント、歓迎装飾設置等の結果、認知度はほぼ100%を達成した。ボランティアの人数は、先催市の実績から目標を設定していたが、業務の効率化を図り、実際の大会で必要な人数を確保した時点（R6.5.10）で募集を終了した。

今後の改善策、対応策等

「する」、「みる」、「支える」のそれぞれの立場で多くの市民が参加し、新たに「稼ぐ」、「育てる」という視点も生まれた。また、スポーツを通じて支え合う共生社会の実現につなげるきっかけとなる大会であった。大会を通じて生まれたエネルギーやレガシーを、今後のまちづくりや経済の好循環につなげる取り組みに活かしていく。